

うしずデイキャンプ

〈令和4年9月11日(日)〉

【目的】

自然体験活動と集団宿泊体験を通じて、青少年の協調性や自立性を育むことを目的として実施する。

【対象】

小学生

【参加者】

参加者19人 ボランティアスタッフ21人

【プログラム内容】

9:30	はじめのつどい	12:00	昼食
10:00	インドアモルック【雨天プログラム】	13:00	自然博士(工作)
	目指せ!新人博士!(クイズ)	15:00	おわりのつどい

「はじめのつどい」



「はじめのつどい」では、開会のあいさつ以後、施設ボランティア「くわがた」が進行しました。アイスブレイクでは、命令ゲームやしりとり自己紹介を行い、初めての人も打ち解けることができました。

「インドアモルック」



雨天により遊歩道の状況が悪かったため、当初予定していたウォークラリーを取りやめ、インドアモルックを行いました。競技を通じて、他の人を応援したり、励ましたり、一緒に喜んだりする姿が見られました。コート片付け作業は、子どもたちが中心となって行いました。

「目指せ！新人博士！（クイズ）」



「目指せ！新人博士！」では、ウォークラリーで実施する予定だったチェックポイントの問題をみんなで考えました。子どもたちは、班の仲間と意見を出し合い、「くわがた」が演じる博士の自然に関する問題にチャレンジしました。最後に、博士とロボットを囲んで集合写真を撮りました。

「 昼 食 」



昼食は、それぞれの班で仲良くいただきました。

「自然博士（工作）」



「子どもたちの作品」



「自然博士」では、子どもたちは博士から竹ペン立ての作り方を教えてもらい、竹の加工・煮沸・装飾を行いました。子どもたちは、のこぎりを交代しながら使い、待っているときは他の人がのこぎりで切りやすいように竹をみんなで押えて協力しました。鍋で竹を煮沸したのち、グルーガンで思い思いの装飾を施しました。

「おわりのつどい」



「おわりのつどい」では、子どもたち一人一人に「楽しかったこと」を発表してもらいました。大勢の前で発表するのは、勇気のいることだと思います。しかし、なかには、自分からみんなの方を向いて発表してくれた子もいました。

子どもたちの発表が終わった後、ボランティアスタッフが作った「うしず博士」の認定証とプレゼントが授与されました。